



(2) 仮説の検証計画

- ①【プロジェクト会議《学び・こころ・ICT》】（毎月）
  - ・「中仙スタンダード」の実践と振り返り、改善をその都度行っていく。
- ②【授業研究会】（年8回）
  - ・研究内容について協議し、子どもの姿から判断する。
- ③【児童アンケート】（7月、12月）
  - ・学習に対する意欲や満足度を評価し、4段階評価で「3以上」であれば概ね良好とする。
- ④【教師アンケート】（7月、12月）
  - ・4段階評価で「3以上」であれば概ね良好とする。（前期・後期）
- ⑤【県学習状況調査】（12月：4～6年）
  - ・県平均と同等、あるいは設定通過率を上回っていれば概ね良好とする。
- ⑥【標準学力テスト】（1月：1～3年）
  - ・全国平均と同等であれば概ね良好とする。

(3) 「研究プロジェクト」の組織と内容

◎リーダー ○サブリーダー

学力向上プロジェクト ◎加賀谷 ○鈴木	【授業改善・スキルタイム・家庭学習をつなぐ学力向上】 【読書活動や詩の暗唱をつなぐことばの土台づくり】 加藤 教務
心のプロジェクト ◎田仲 ○伊藤	【道徳と特活の融合による「心を育てる学校」の実現】 進藤 校長
ICTプロジェクト ◎時田 ○佐々木崇	【授業におけるICTの効果的な活用促進】 教頭